さいたま市教組情宣

さいたま市
教職員組合
（埼教組）

TEL 641-6763
FAX 648-3567
e-mail
saisikyouso@mx2.
et.tiki.ne.jp

2002.5.16（木）
No. 4

「まさか、そんなこと」と思っていたら大変です

あなたをねらっている

有事法制 1ページ?!

日本を、「戦争をしない国」から「戦争をする国」にしてはなりません！

「教え子を再び戦場へ送らない！」

私たちの先輩は、戦後、こう心に誓って子どもたちの前に立ちました。あれから五十年余、その時々の教育課題は様々ありましたし、いま学校現場は新しい教育課程で混乱し、多忙化に拍車がかかっています。しかし同時に、私たち教職員はこの問題をしっかりと意識しておかなければならないと思います。有事法制の危険性を・・・。

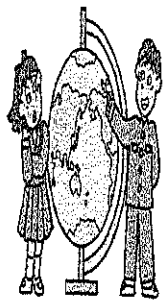
なぜ今「戦争法制」？

政府が国会に提案したのは、「武力攻撃事態法案」「安全保障会議設置法改悪案」「自衛隊法改悪案」の三つです。政府はこれを「日本が外部から武力攻撃を受けた場合」に対応するための法制だ、と言っています。

しかし、いったい今の時代に、日本に対して武力攻撃してくる国があるでしょうか。小泉首相も「現在のところ、・・・我が国に脅威を与えるような特定の国を想定しているわけではない」（二月八日）と明言しています。

では、なぜいま、有事（戦時）法制の整備なのでしょうか。

その正体は？



法案は、「武力攻撃事態」には、武力攻撃の「おそれ」や「予測」があると政府が判断すれば、有事法制を発動すると言っています。

そして「予想される事態」には「周辺事態」も含まれると、防衛庁長官は明言しました。

「周辺事態」とは、日本が武力攻撃されていないなかで、アメリカが海外で軍事介入する「事態」のことです。

つまりこの法案は、アメリカが海外で戦争を始めたときから、国民を戦争に動員する体制をつくるものなのです。

知れば知るほど恐ろしい

次に、自衛隊法改悪案では何がねらわれているのでしょうか。

●土地・施設・家を収用、物資も調達

政府の一方的な判断に基づいて、必要とする土地や建物、物資の徴用が軍事行動最優先にされ、思いのままに動員されます。さらに収用・調達に対しては拒否できないものとされています。

●医療・輸送・建築などの労働者をかりだす

医療関係者は野戦病院に徴用し、運輸会社を武器・弾薬などの軍事物資の輸送に、建設会社には軍事行動優先の道路や建築物の建設への従事など、国民生活を二の次にした強制が行われます。

●自衛隊・米軍の行動を最優先

軍事行動の優先は自治体を巻き込み、私有地の使用や自然環境保護区の強制使用など、市民生活や環境破壊を伴って行われます。

戦争協力！ ～拒否すれば犯罪者

首相に絶大な権限を与えて、戦争に国民を動員していく体制をつくる・・・これが有事法制の大きなねらいです。

罰則は・・・

▼保管命令に従わなかった者に対し、「六ヶ月以下の懲役又は三〇万円以下の罰金」

▼土地・施設・物資の使用・保管のための立ち入り検査を拒否・妨害した者などに対して「二〇万円以下の罰金」を課す、としています。

まさにこれは、戦争に反対する者を犯罪者にして処罰する、とんでもない法案なのです。

平和の備えは憲法（9条）です

小泉首相は「備えあれば憂いなし」と言いますが、最大の平和の備えは憲法です。

いまこそ、教師として声を上げるときです。あなたも意見、抗議の声をお寄せ下さい。

★映画上映会のお知らせ★

長編アニメーション映画『えっちゃんのせんそう』（岸川悦子原作）

◆六月　二日（日）大宮ソニック　十時半～　一時半～

◆六月十五日（土）与野産文センター　十時～　十二時～　二時～

◆六月二三日（日）埼玉会館　十時～　十二時十五分～　二時半～

晋輔先生のひとりごと 実践講座③

私は中二の時、いじめを受けていました。荒れていた東京の中学校の中で、みんなと違った雰囲気を持っていたからか、単に針金のように痩せ、背もクラス一小さかったからか。反撃しようにも腕力はないし、親に言うなど傷つきやすい自分のプライドが許しません。わずかに日記に感情を吐露して耐えていました。ナイフによるいじめ。男子全員からの仲間外し。とにかくいじめは一年、クラス替えまで続きました。これだけやられているのに気づいた先生は一人もいませんでした。私は教師不信になってしまいました。

ある市の教育長は言いました。「三十人学級の要求と言うが、もっと少ない人数の中で私はいじめられた。少数のため隠れる場さえなかった。三十人学級反対」と。でも私は言いたい。気づかれもしない大規模学級の中のいじめの方が悲惨じゃないか。三十人学級なら少なくも気づくぐらいできるだろうと。

人それぞれ教職を仕事にする目的があると思いますが、そんなわけで、私は教師としての仕事の第一は「いじめられている子」「虐げられている子」を早く発見し、よりそってあげることだと思っています。

（中川晋輔　大久保中学校教諭）

つづく